

桂川の夏(国際交流編)



◀ 習字にも挑戦。「友」の文字をみんなで書きました。



▲ 写真後列左からジェイスン、ライアン、マックス、ケリー。桂川町のホストファミリーの子どもたちと記念撮影。4人の将来の夢は、医者や音楽家だそうです。



また、けいせん「夢・人・未来塾」アンビシャス広場主催の歓迎会では、コマ・けん玉などの日本の伝統的な遊びや、陶板(とうばん)への絵付け体験などを体験したあと、ソーメン流しをみんなで楽しんだ。

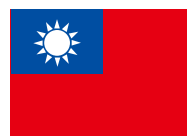
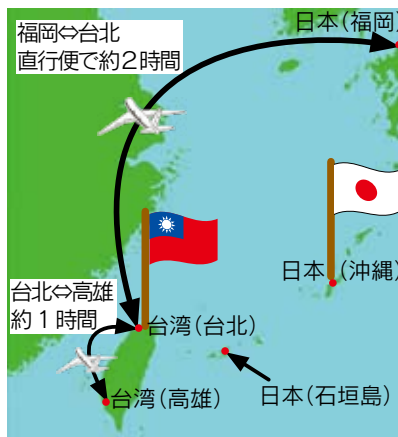
翌日には、桂川小学校を訪問し、5年生のクラスに入り、歓迎会やプールなどに参加しました。5年生による歓迎会では、歓迎の花笠音頭による躍りや様々な交流ゲームなどが行われました。桂川小学校の児童は握手と、先生に教わった英語や中国語によるあいさつと、後は身振り手振りでお互いの意志を通じて合わせ、親睦(しんぼく)を深めました。歓迎会を開いてくれたお礼にと、こども大使からは、台湾の伝統的な躍りや、コカリナ演奏が披露(ひょうろ)されました。

台湾から「こども大使」が桂川町に7月16日、台湾(高雄市)出身の11歳の「こども大使」4人が桂川町にやってきました。これは、APCC(アジア太平洋こども会議・イン福岡)が主催するもので、今年で20回目の開催となりました。



台湾は、九州の南、沖縄から更に南西の方角に位置した、木の葉のような形をした台湾島とその周辺諸島で構成されています。太平洋上で発生した台風が多く、台湾付近を通過して日本にやってくるため、テレビのお天気ニュースでもよく、日本と台湾の地図が登場します。日本との時差は、わずか1時間(日本が午前10時の時、台湾は午前9時)で、福岡空港からも直行便が1日3往復出ています。気候は、九州によく似て夏は蒸し暑く、冬は温暖な亜熱帯・熱帯となります。

台湾はアジアの中でも強い経済力(パソコン・テレビ部品等、電子工業関連などでの加工貿易による)を持ち、日本経済とも深く結びついています。また、教育についての水準も高く、大学の進学率も7割を超え、海外、特に日本の様々な文化などへの関心も高くなっています。



台湾って
どんなところ？

人口：約 2,290 万人 (2007 年 6 月末現在)
面積：約 35,500km² (九州とほぼ同じ面積)
距離：福岡から直線距離で約 1,300km
(沖縄・石垣島からなら約 100km)